



平成 30 年 1 月 31 日

各 位

会 社 名 荏原実業株式会社
 代表者名 代表取締役会長兼社長 鈴木 久司
 (コード番号：6328 東証第一部)
 問合せ先 上席執行役員総合企画室長 大野 周司
 (TEL 03-5565-2885)

通期業績予想の修正及び配当予想の修正（増配）に関するお知らせ

当社は、最近の業績の動向等を踏まえ、平成29年2月7日に公表した平成29年12月期通期（平成29年1月1日～平成29年12月31日）の業績予想及び期末配当予想を下記のとおり修正しましたので、お知らせいたします。

記

1. 平成29年12月期業績予想値の修正（平成29年1月1日～平成29年12月31日）

(1) 連結業績

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想(A)	28,000	1,340	1,440	1,000	149円09銭
今回修正予想(B)	26,100	1,730	1,860	1,360	202円77銭
増減額(B-A)	△1,900	390	420	360	-
増減率(%)	△6.8	29.1	29.2	36.0	-
(ご参考)前期実績 (平成28年12月期)	27,771	1,290	1,420	1,029	153円75銭

(2) 個別業績

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想(A)	26,500	1,200	1,330	940	140円15銭
今回修正予想(B)	24,800	1,540	1,700	1,280	190円84銭
増減額(B-A)	△1,700	340	370	340	-
増減率(%)	△6.4	28.3	27.8	36.2	-
(ご参考)前期実績 (平成28年12月期)	26,312	1,169	1,322	990	147円93銭

(3) 修正の理由

売上高は、上下水道向け大型工事の一部に進捗の遅れ等が生じ、前回発表予想を下回る見込みですが、採算性を重視した受注、積算精度の向上及び原価意識の徹底が功を奏し、売上総利益が増加し、営業利益以下各利益について前回発表予想を上回る見込みです。

また、受注高についても上下水道関連施設の更新需要、半導体関連需要の増加等によって、連結受注高は、期首の見通しを上回る見込みです。

(ご参考) 平成29年12月期連結受注高予想値の修正

(単位：百万円)

	連結受注高
前回発表予想(A)	28,500
今回修正予想(B)	31,600
増減額(B-A)	3,100
増減率(%)	10.9
(ご参考)前期実績 (平成28年12月期)	25,780

2. 配当予想の修正 (増配)

(1) 平成29年12月期配当予想の修正

	年間配当金 (円)		
	第2四半期末	期末	合計
前回発表予想		22円50銭	45円00銭
今回修正予想		27円50銭	50円00銭
当期実績	22円50銭		
前期実績 (平成28年12月期)	22円50銭	22円50銭	45円00銭

(2) 修正の理由

当社は、株主の皆様に対して安定的配当を継続して実施することを経営の重要課題とした上で、内部留保にも意を用い、研究開発、設備投資に備えるなどして、業績の向上と財務体質の強化に努めることを利益配分の基本方針としております。

このような方針の下、上記の通期業績予想の修正のとおり、当社グループの業績は堅調に推移し、連結・個別業績ともに過去最高益を更新する見通しです。

つきましては、株主の皆様に対する利益還元の実現を目的に、平成29年12月31日を基準日とする平成29年12月期末配当の予想を、1株当たり22.5円から5円増配し、1株当たり27.5円に上方修正することといたしました。

これにより、既の実施しております第2四半期末配当金22.5円と合わせた年間配当は、1株当たり50円となる見込みです。

(注) 上記の予想は、本資料発表日現在において入手可能な情報及び想定できる経済情勢、市場動向などを前提として作成したものであり、今後の様々な要因により、予想と異なる結果となる可能性があります。

以上